

フェロモントラップを用いたマメシクイガの発生予測

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

1 部門名

普通畑作物－大豆－病害虫発生、病害虫防除

2 担当者

三田村敏正・岸 正広

3 要旨

ダイズの子実害虫・マメシクイガは連作により徐々にほ場内密度が高まり、甚大な被害となる。本種成虫は小さく、叩き出し法による従来の調査は困難で労力を要するため、簡便にモニタリングできるフェロモントラップを用いた調査法について検討した。

(1) トラップは7月下旬に設置し、トラップの高さはダイズの草冠高と同じになるよう調査時に調節する。

(2) マメシクイガ成虫は8月下旬から10月上旬にかけて誘殺され、2009年、2010年は9月上旬にピークが確認された。

(3) フェロモントラップを利用することで本種の発生を簡便かつ効率的に確認でき、さらには防除開始時期の把握に活用できる。

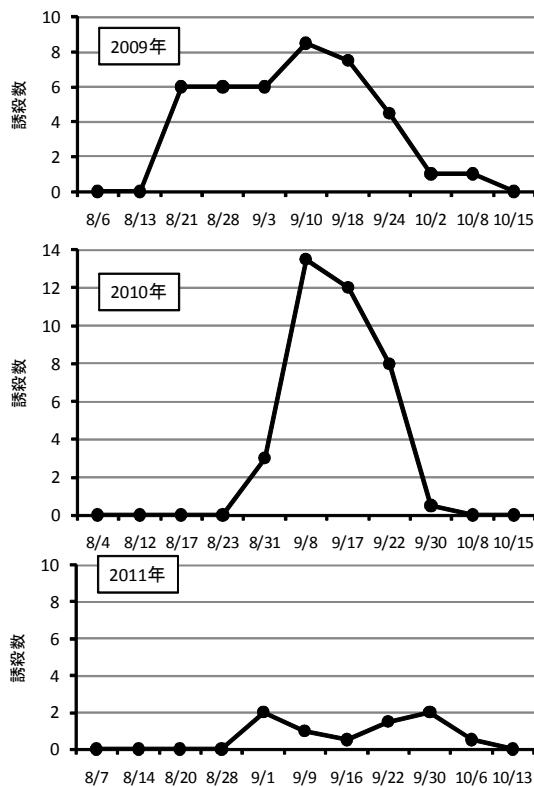


図 フェロモントラップによるマメシクイガの発生消長

調査場所は会津若松市神指町横沼のダイズほ場。トラップはほ場の中央に30m間隔で2ヶ所設置し、ダイズの草冠高と同じになるよう調査時に高さを調節した。



写真1 ダイズほ場に設置したフェロモントラップ



写真2 マメシクイガ成虫

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成23年度～26年度

(2) 研究課題名 新奇・難防除病害虫の効率的防除技術の開発

(3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

(1) 平成21年度～23年度センター試験成績概要